

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



おう

かしこい王さま、
ソロモン



ぶん
文: Edward Hughes

え
絵: Lazarus

かいさくしゃ
改作者: Ruth Klassen

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ
出版社: Bible for Children

www.M1914.org

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、
きよか
許可されています。



ダビデ王は、神さまのとてもよいしもべでした。ダビデが王さまのあいだ、イスラエルの国は、どんどん大きくなっていきました。サウルが王さまだったときの10倍にもなったのですよ。けれどもダビデは、もう長く王さまでいることは、できないようです。

もうすっかり年をとってしまいましたからね。つかれてしまったのです。

しかも、病気になるてしまいました。ダビデの命は、もうそろそろおわりそうです。

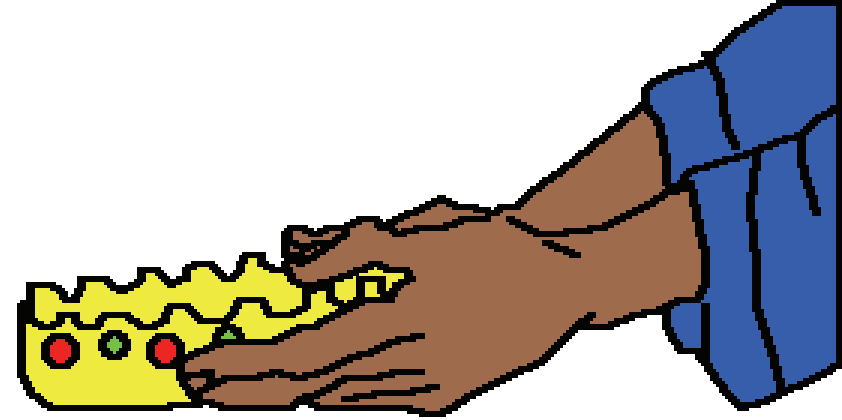




ダビデには、たくさんのむすこが
な
かりました。その中のひとりアドニヤは、
ひとひと い
イスラエルの人々にこう言いました。「
いま おう
今はもう、わたしがここの王なのだ。」と。
な しゅ かみ
アドニヤという名は、「わたしの主は、神」と
い み かみ
いう意味ですが、かれは神さまのよいしもべで
はありませんでした。アドニヤは、お父さん
おう とし よわ
ダビデ王が年をとり弱くなっているとわかり、
じぶん つよ おも
自分のほうが強くなったと思いました。そこで
じぶん おう
自分が王になろうとしたのです。でもね、
かみ けいかく
神さまは、ちゃんとほかのことを、計画
していらっしやいました。

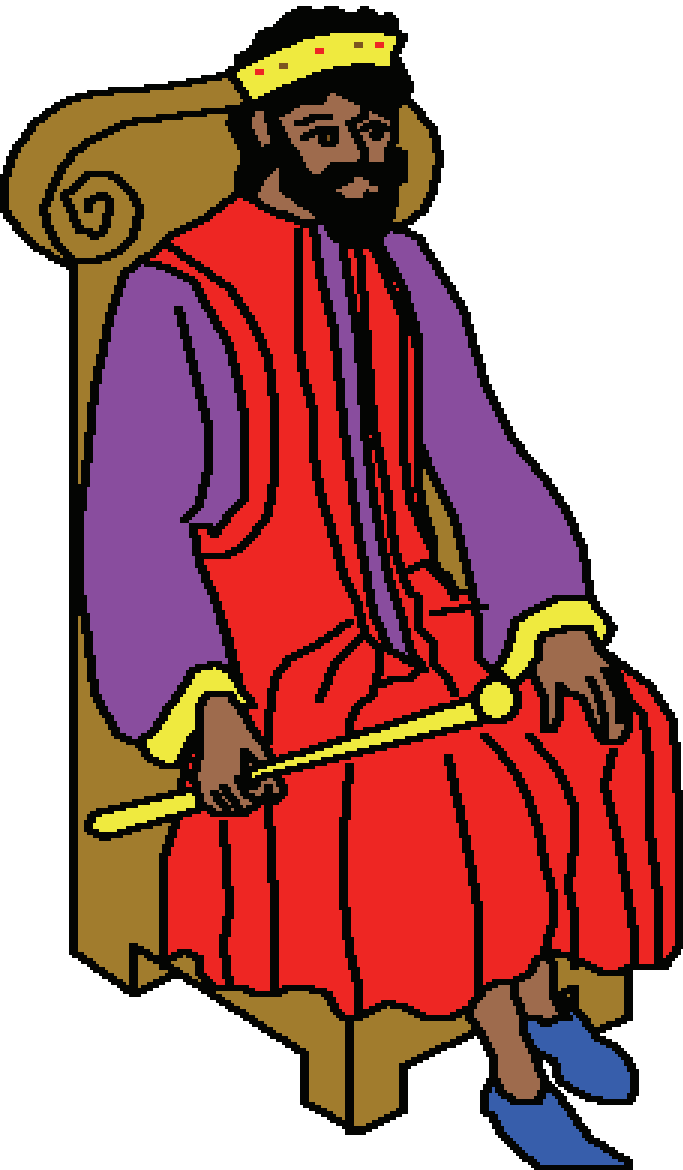


ダビデのおくさんバテシバは、かの
じよ おう
女のむすこソロモンが、つぎの王に
しん
なると信じていました。そこで、バ
わる
テシバはダビデに、アドニヤの悪い
けいかく はな
計画を話しましたよ。するとどうで
びょうき た
しょう。病気のダビデは、すぐに立
あ くに
ち上がり、国のリーダーたちをあつ
くにひとひと
めました。そしてこの国の人々みん
い つぎ
なにこう言いました。「次のイスラ
おう
エルの王は、ソロモンである。」



ひとびと　　だ　い　す　　い　　た　だ
イスラエルの人々は、みんなダビデが大好きです。かれの言うことは、正しいと
しん　　お　う　　あ　ら　そ
信じました。ですからソロモンは、どちらが王になるかで、もうアドニヤと争
うことはありませんでした。ダビデは、「ソロモン、神さまがおまえをイスラエ
お　う　　い　　い
ルの王にえらばれたのだよ。」と言いました。こう言ったすぐあとで、ダビデは
な
とうとう亡くなってしまいました。





な
ダビデが亡くなるまえ、かれはソロモン
かみ
に、神さまにしたがうことと、よい王さま
おう
までいることをおしえました。「ソロモ
かみ
ン、いつも神さまにしたがって生きてい
い
くんだよ。そうすれば、おまえのすること
は、みんなうまくいくからね。」ダビ
い
デの言ったことは、わたくしたちにも
たいせつ
大切なことですね。こうしてソロモン
とう
は、お父さんダビデにつづいて、王さま
おう
になりました。ソロモンの王国は、だん
おうこく
だんつよく大きくなっていきましたよ。
おお



ある^{よる}夜のことで
す。ソロモンはゆ
め^みを見ました。ゆ
め^{なか}の中で、神さま^{かみ}
があらわれて言わ
れました。「ソロ
モンよ、言^いってみ
なさい。わたし
は、あなたに何^{なに}を
あたえよう。あな
たは、わたしに何^{なに}
がほしいのか。」



ソロモンのこたえは、こうでした。「^{かみ}神さま、^{おう}わたしがよい王さまになれますよ
^{ちえ}うに、^{なに}あなたの知恵を^{ただ}ください。^{なに}何が正しく何が
まちがっているかわかりますように。」

^{かみ}神さまは、ソロモンのこたえ
を、たいそうよろこばれま
した。そして、ソロモン
はこのぞんだとおり、
^{かみ}神さまから^{ちえ}知恵をい
ただきましたよ。
でもね、それだけで
はありません。その
ほかに、たくさんの
^{たから}宝も、^{ひとびと}また人々が
^{しん}かれを信じ、した
がうようにもして
くださったのです。



たみ

おう

イスラエルの民は、ソロモンがほんとうにかしこい王さまであることは、すぐに

ひ ふたり かあ ひとり あか

わかりましたよ。ある日、2人のお母さんが1人の赤ちゃんをつれてやってきま

ひとり かあ ひとり かあ い おう

した。1人のお母さんが、もう1人のお母さんをゆびさして言いました。「王さ

ひと あか よなか し

ま、この人の赤ちゃんは、夜中に死んでしまったのです。それ

い あか と じぶん し

で、わたしの生きている赤ちゃんを取って、自分の死

あか と

んでしまった赤ちゃんと取りかえてしまったんで

ひとり い

す。」すると、もう1人が言いました。「いい

い あか

え、そうではありません。この生きている赤

こ

ちゃんは、ほんとうのわたしの子です。」

おう

はてさて、ソロモン王は、どうするの

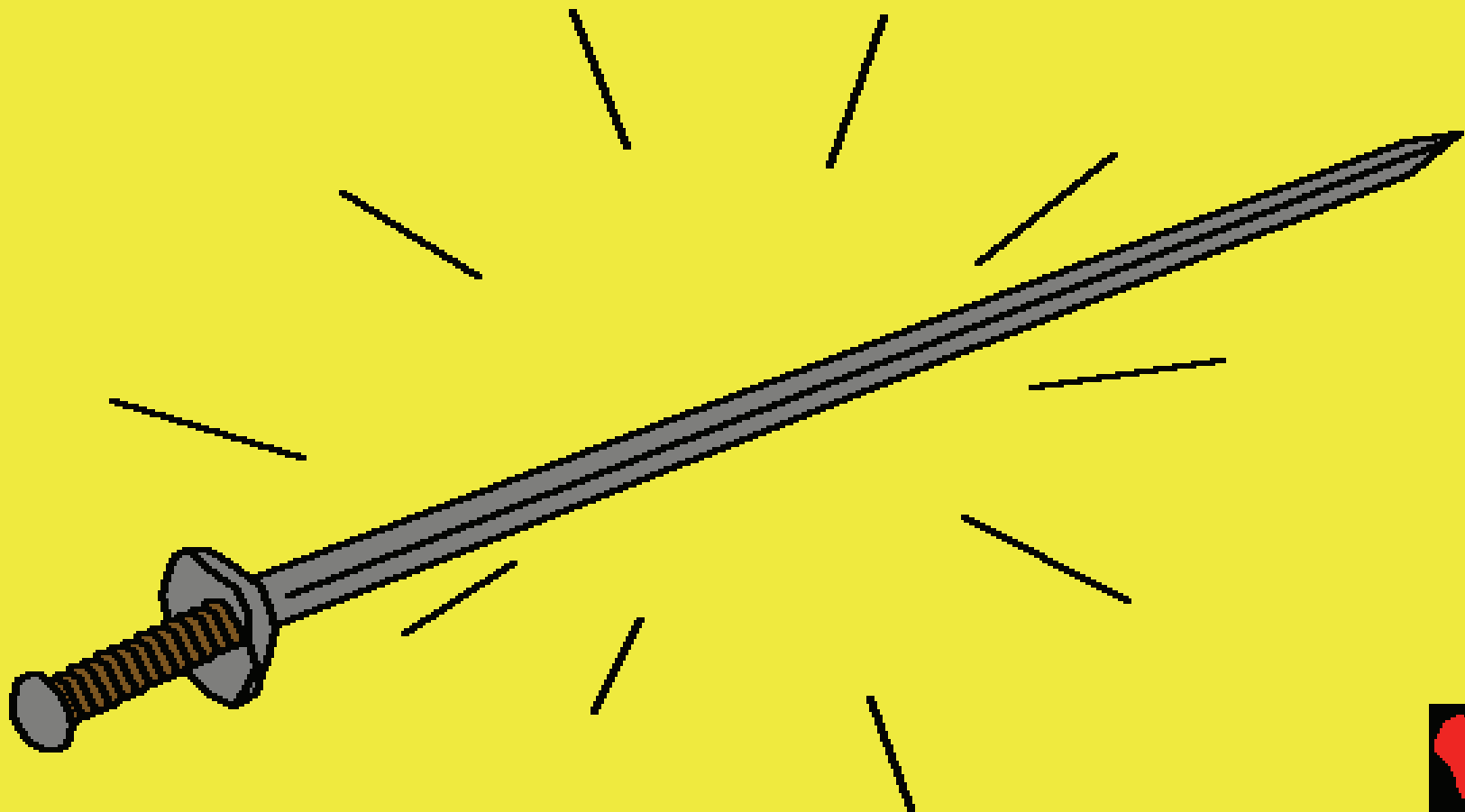
でしょう。いったいどちらが、ほん

かあ

うのお母さん？



ソロモン王は言いました。「ここに、わたしのつるぎをもってきてなさい。」そこで、かれらは、王さまのつるぎをもってきましたよ。さて、みなさん、いったいソロモン王は、つるぎで何をするつもりなのでしょう。



それから、王^{おう}さまは言^いいました。「さあ、その生^いきている子^こを、このつるぎで2
つに切^きってしまいなさい。その半^{はんぶん}分^{ぶん}は、1人^{ひとり}のお母^{かあ}さん、そしてあと半^{はんぶん}分^{ぶん}は、も
う1人^{ひとり}のお母^{かあ}さんにあたえよう。」すると、1人^{ひとり}のお母^{かあ}さんは叫^{さけ}んでいいまし
た。「いいえ、それはやめてください。生^いきている子^こは、か^かの女^{じょ}にわたしてくだ
さい。子^こどもをころさないで！」



けれども、もう1人のお母さんは、こう言っ
たのです。「この子を、わたしのものでも、
あなたのものでないように、つるぎで切っ
て分けましょう。」



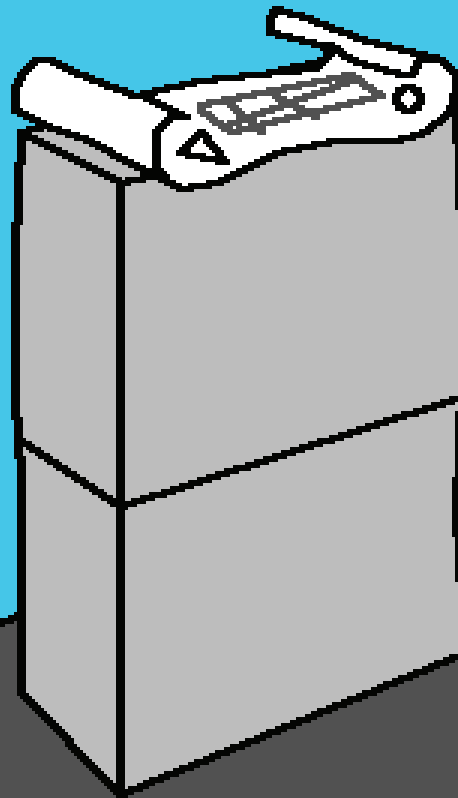
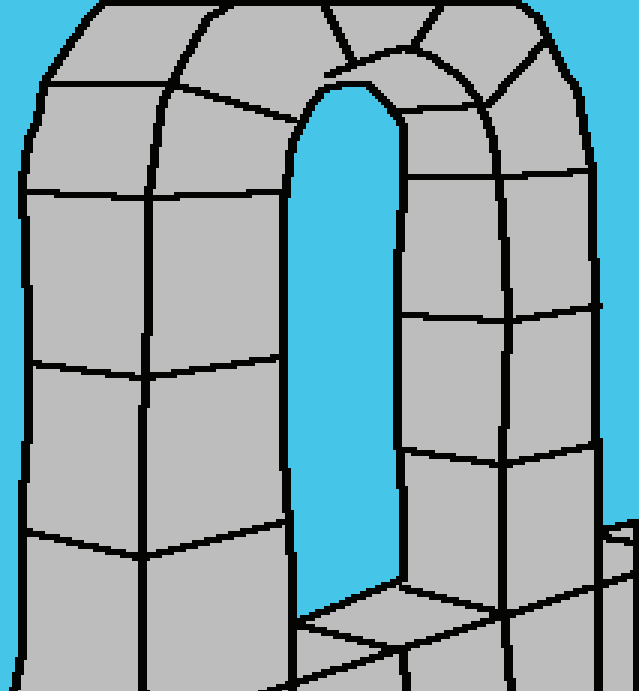


そこで、王^{おう}さまは言^いいまし
た。「その生^いきている子^こ
を、はじめの女^{おんな}の人^{ひと}にわた
しなさい。その人^{ひと}が、ほん
とうのお母^{かあ}さんです。」さ
て、この話^{はなし}を聞^きいたイスラ
エル^{ひとびと}の人々^{おも}は、みんな思^{おも}
いました。ソロモン^{おう}王^{おう}は、な
んてえらいのだろうって。
神^{かみ}さまが、ソロモン^{ちえ}に知^{ちえ}恵^え
を^{あた}与^{たす}えられ、いつも助^{たす}けて
く^{あた}ださ^{たす}っているんですね。

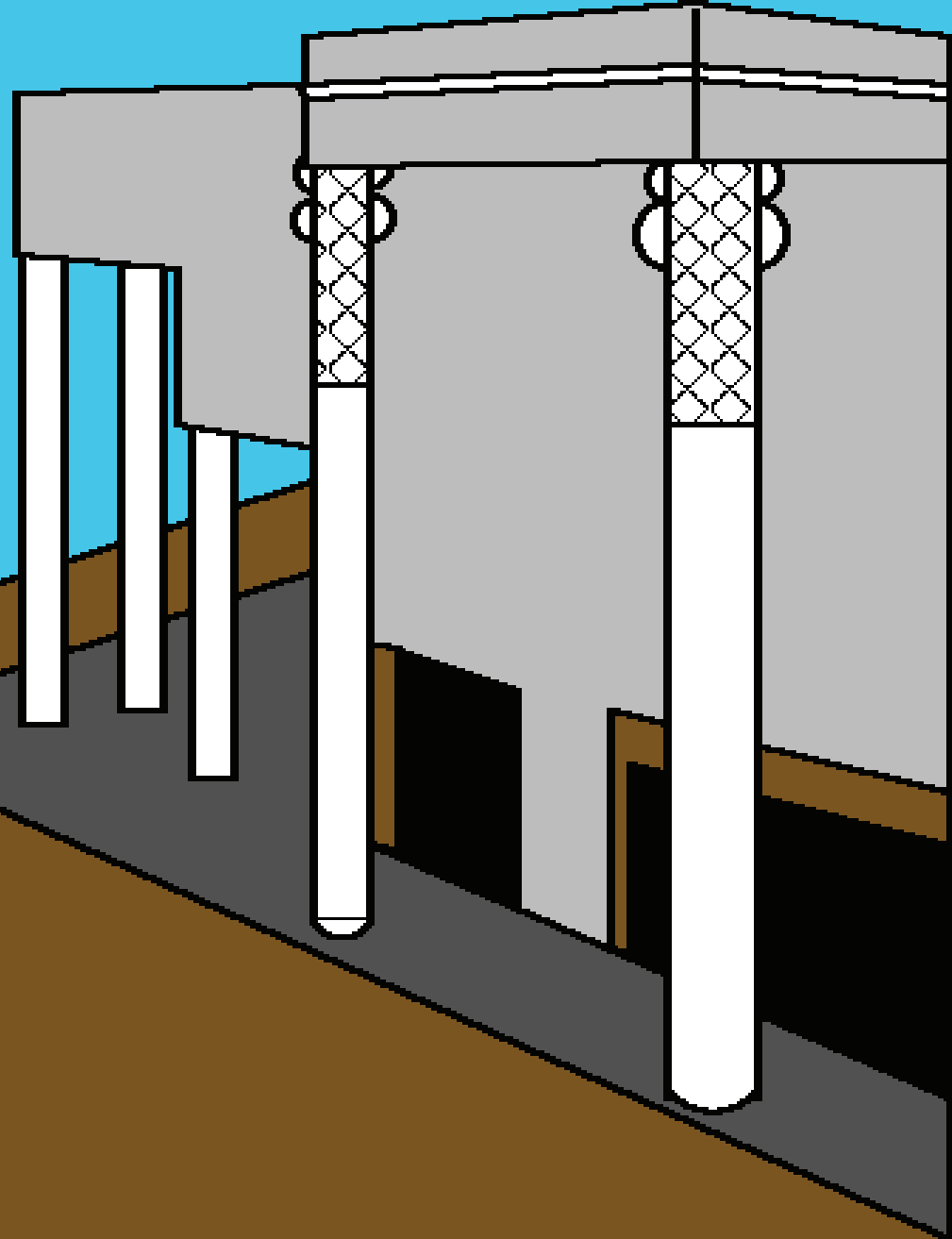


ひとびと かみ れいはい しん

イスラエルの人々は、神さまを礼拝する神でんがあり
ませんでした。まえに、ダビデが神でんをたてようと
したことがありましたね。そのとき、神さまはこう言
われました。「ダビデ、あなたのむすこがわたしの家
をたてるだろう。」ってね。そこで今、ダビデのむす
こソロモンは、エルサレムにすばらしい神でんをたて
はじめましたよ。



その^{しん}神でんをたてるのに、なんと7
^{ねん}年もかかったのです。でもやっと、
できあがりました。ソロモンが^{しゅ}主に
その^{しん}神でんをささげると^き聞いて、た
くさんの^{ひと}人があつまってきました。



こころ

はじめに、みんなで心をあわせて

いの

おう

お祈りしました。それから王さまも

ひとびと

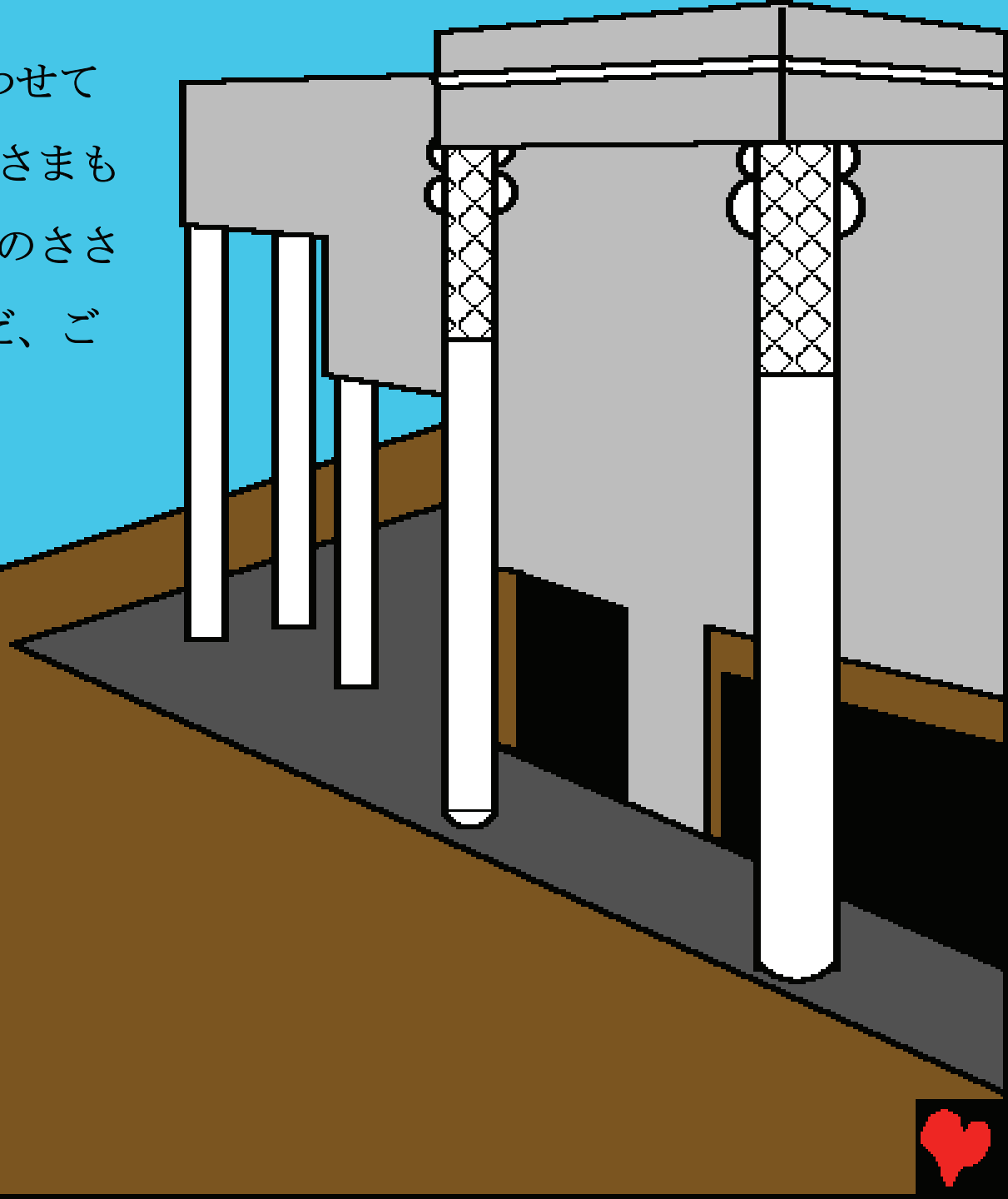
人々も、よろこんでたくさんのささ

もの

しゅうかん

げ物をし、2週間ものあいだ、ご

ちそうをいただきましたよ。



かみ

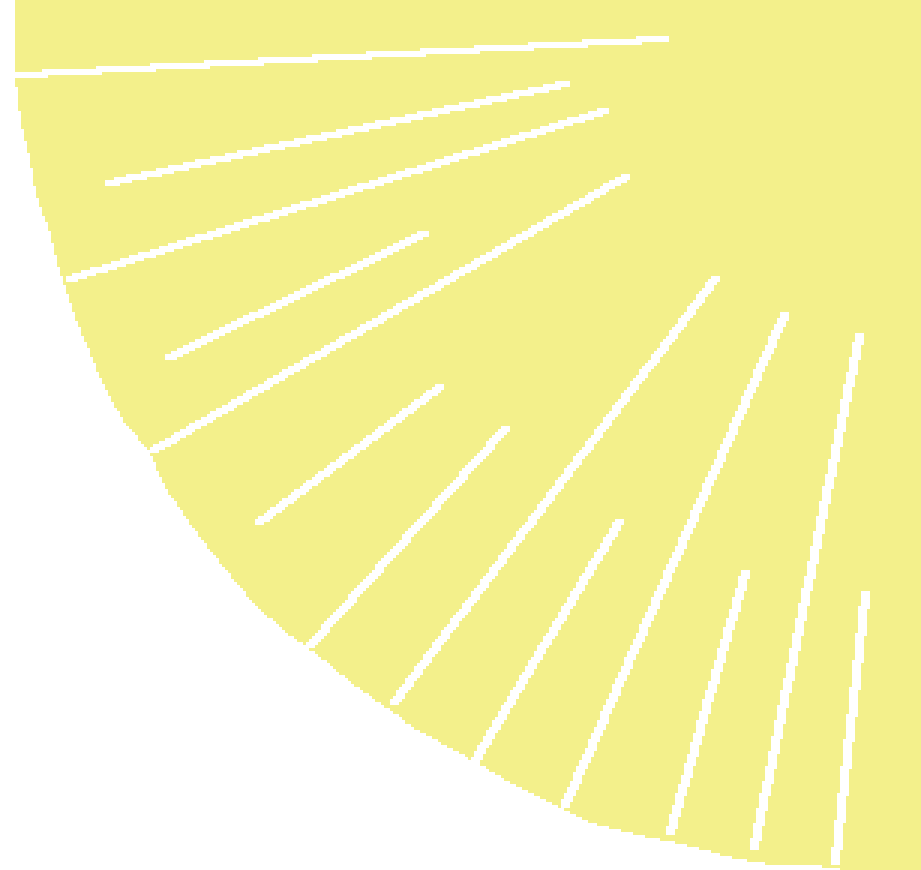
このあと、神さまはまた、ソロモンの
ところにあらわれてやくそくしてくだ
さいました。「ソロモンよ、あなたと

たみ しゆく

イスラエルの民を祝ふくしょう！あな

しゆく

たたちが、主にしたがっているあいだ
はいつまでも。」



ところが、かなしいことにソロモンも人々も、いつのまにか神さまに
したがうことを、すっかりわすれてしまったのです。ソロモン王は、
たくさんの女の人とけっこんしました。でもね、その女の人たちは、
神さまがよくないと言われていた人たちでした。神さまを信
じていないおくさんたちは、ソロモンの心を、ぐう像を信
じるように変えてしまったのです。ソロモンの心は、
かれの神さまである主からはなれてしまい、
したがわなくなってしまうました。
お父さんダビデは、いつも主だけを信じていたので
すけれどね。

ひとびと

かみ

おう

おんな ひと

かみ しん

こころ ぞう しん

か

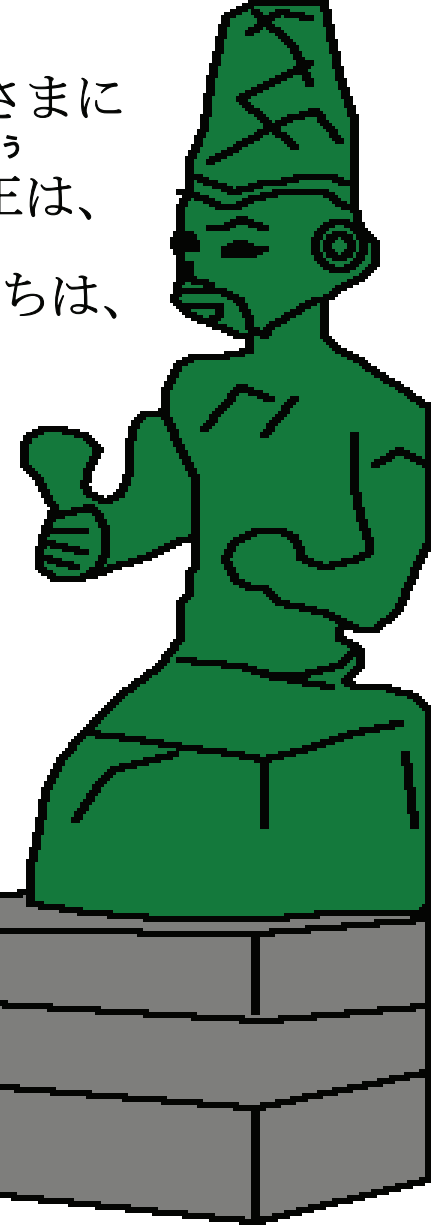
こころ

かみ

しゅ

とう

しゅ

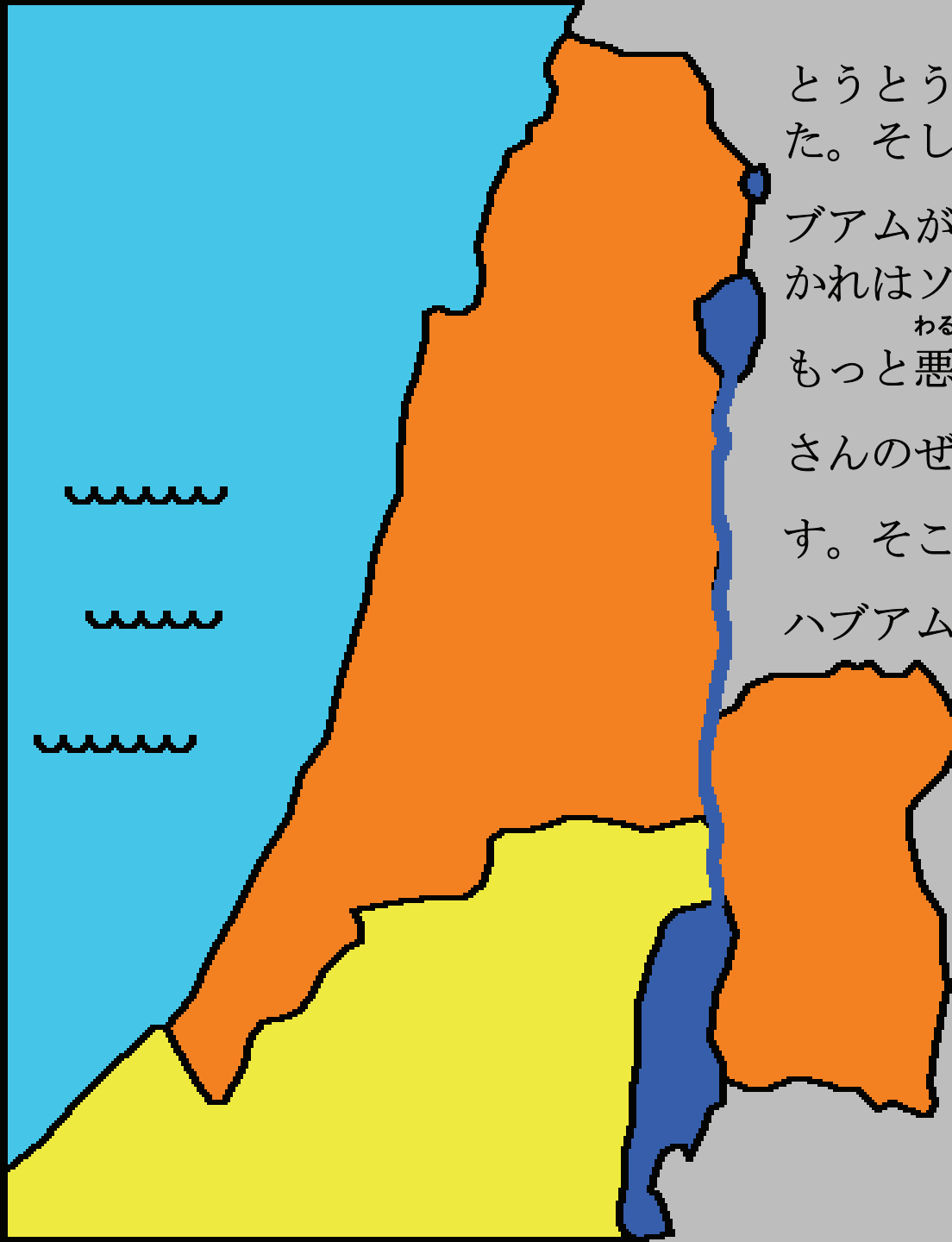


ソロモンが、神さまからすっからはなれているときのことです。ソロモンのめしつかいの1人にヤロブアムという人がいました。このヤロブアムにふしぎなことがおこりましたよ。あるよげん者が、かれのところにあらわれて、こんなことを言ったのです。「ヤロブアム、神さまは、ソロモンの国を12の部ぞくに分けようとされている。」



そのうちの10の部^ぶぞくは、あなたのものとなるだろう。」それを^き聞いたヤロブ
アム、大^{おおいそ}急ぎでエジプトへにげましたよ。どうしてって、もし自分^{じぶん}がここにいた
ら、ソロモンに^{おも}ころされてしまうだろうと思ったからです。





とうとう、ソロモンが死んでしまいました。
そしてつぎに、ソロモンのむすこレハ
ブアムが王さまになりましたよ。でもね、
かれはソロモンがやったことより、もっと
もつと悪いことをしました。人々からたく
さんのぜい金を取って、くるしめたので
す。そこで、10の部ぞくの人たちは、レ
ハブアムにそむいて、あたらしい国をつく
りました。そして、リーダーに、
あのエジプトへにげたヤロブアム
がえらばれたのですよ。こうして
ソロモンのすばらしい国は、2つ
に分けられてしまったのです。
そう、神さまは、したがわかない者
を、けっして祝ふくなくさ
らないのですね。



おう
かしこい王さま、ソロモン

かみ み せいしょ する
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

れつおうきじょう しょう しょう
列王記上 1 章 - 12 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死しです。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架じ上で亡なられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国てんごくのいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところいの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこういってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡なつ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらっしゃいます。どうか、私わたしのところいの中きに来つて、罪をゆるしてください。それで、私わたしのいま、あた
らしい命いのちをいただけます。そして、いつか、あなたの所ところへ行いき、いつまでもあなたといっしょにいる
ことができるこのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

